

平成 15 年度

三重大学教育学部附属教育実践総合センター年報

所在地：〒514-8507 三重県津市上浜町 1515

電話 059-231-9339 FAX 059-231-9343

URL <http://cerp.edu.mie-u.ac.jp>

構成員（平成 16 年 3 月 31 日現在）：

センター長（併） 栗原 輝雄 教授（kurihara@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9331）

専任教官

教育学部部門 下村 勉 教授（simomura@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9340）

教育実践研究部門 須曾野仁志 助教授（susono@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9341）

教育臨床研究部門 小山内 實 教授（osanai@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9284）

岡田 珠江 助教授（t-okada@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9250）

客員教官 太田 克子 客員教授

事務補佐員 大平 幸枝（ohira@salon.edu.mie-u.ac.jp、059-231-9339）

1. 学内での年間活動状況

- a) センター主催・共催の研究会・研修会（概要・時期・期間・対象・回数・参加者数）
- ・学習支援研究会 研究・実践の発表と討論及びメーリングリストによる交流、例会：年 12 回（通算：第 212 回～第 223 回） 学校教育関係者 登録者約 50 名 8～12 名／回 延べ約 120 名
 - ・三重インターネット教育利用研究会（MIEUP）メーリングリストによる交流と夏期合宿（年 1 回） 登録者約 100 名
 - ・SCS 遠隔共同講義「授業実践研究」（前期）及び「情報とメディア研究」（後期） 年 16 回 受信局として参加 教員内地留学生・学生 4～12 名／回
 - ・教育学部専修免許認定公開講座「教育学特論」・8／2、9－11・教育関係者・20 名
 - ・教育学部フレンドシップ事業「中学生のためのプレゼンテーション教室」・7／23、中学生 12 名 大学生 11 名
 - ・教育学部フレンドシップ事業「小学生のためのホームページ教室」・7／26、小学生 22 名 大学生 30 名
 - ・センター主催 教育臨床研修講座 事例検討会、カウンセリング講義演習 隔月 1 回・学校教育関係者・登録者 50 名
 - ・センター主催 客員教授による特別講義「子どもたちや親が真に求めるもの」 1 回・12／3・教育学部学生・15 名
 - ・センター主催 学校現場の課題－カウンセリング・情報教育－を考える会 内地留学生の研究成果発表会 年 1 回・3／26 教育関係者・学生 30 名（予定）
- b) センター専任教官の学部・大学院教育への参与状況（担当授業・コマ数・人数・指導態様）
- 【学部】○「教育学」：2 コマ・65 名・前期／後期、○「教育学演習」：1 コマ・25 名・前期、○「情報科教育法」：1 コマ・20 名・前後期、○「教育実践演習」：1 コマ・12 名・

前期、○「教育臨床Ⅱ」：2コマ・80名・後期、○卒業研究生受け入れ（2年生：6名、3年生：5名、4年生：7名、計18名）

【大学院】○「教育工学特論」：1コマ、12名、前期、○「教育工学特論演習」：1コマ、3名、前期、○「学習支援特論」：1コマ、15名、前期、○「学校臨床心理学特論」1コマ、18名、後期。○大学院生の修論指導 2名

c) その他

- ・心理相談室：附属学校園、地域の児童生徒・保護者・現職教員・毎週2日開室・延べ25名

2. 対外的な教育・研究活動状況

a) 都道府県／市町村／公立学校との協同事業による研究会・研修会

- ・情報教育教員内地留学生（半年、4名）及び学校カウンセラー養成内地留学生（1年、3名）の受け入れ 2003. 4－2004. 3
- ・県内高等研究機関と三重県との共同研究『「総合的な学習の時間」充実プロジェクト』、共同研究者会議、年4回
- ・三重県と高等研究機関との共同研究「総合的な学習の時間」充実プロジェクト、グループ会議、年6回
- ・三重県専修免許認定講習「教育の方法と技術に関する科目」講師・4日間・7/29－31、12/26・参加者20名
- ・三重県教育委員会「県立学校における総合的な学習の時間の展開」講座、指導・助言、年1回
- ・三重県教育委員会「教育情報化コーディネータ養成研修」、講演、年1回 10/16 教員47名
- ・津市情報教育研究部会講演「これからの情報教育のあり方について」 10/2 教育関係者 30名
- ・四日市市民大学「今、求められる情報力」講演 10/22 一般 40名
- ・津市立南立誠小学校6年生授業「ホームページ作成」学生派遣 6/2 6/9
- ・上野教育事務所「保健室におけるこころの理解」養護部会研修会講師・1/30・養護教諭1回・30名

b) その他

- ・四日市市立教育センター・視聴覚センター運営協議会委員長 年2回
- ・文部科学省平成15年度教育情報共有化促進モデル事業、みえデジタルコンテンツ授業実践共有化プロジェクトチーム（みえデジコム）顧問 2003年度 数回
- ・学力向上フロンティア協議会委員長 2003. 4－2005. 3 年数回
- ・「学校インターネット3」ネットワーク研究推進委員会委員長 2002. 3－2004. 3

3. センターの外部資金導入状況

助成金名称	研究題目	本年度金額	研究期間	研究代表者
文科省科学研究費 補助金基盤研究 B	総合的な学習と地域のまちづくりとの連携を推進する参画型の開発と活用	1600 千円	2001－ 2003 年度	下村 勉
文科省科学研究費 補助金基盤研究 C	情報発信型教育における作品評価システムの開発と広域参画型学習への適用	1900 千円	2003－ 2004 年度	下村 勉
三重県高等教育機関と県との共同研究	「総合的な学習の時間」の成果と課題についての検証と分析	1575 千円	2003 年度	下村 勉
文科省科学研究費 補助金基盤研究 C	総合的な学習における協同ポートフォリオの作成と情報発信を支援する CSCL 環境の開発	1400 千円	2002－ 2003 年度	須曾野仁志

4. 将来構想

- 心理相談室の運営を軌道にのせ、地域貢献を果たすこと
- 現職教員の資質維持・向上のため、研修講座と内地留学のカリキュラムを充実させること
- 共同研究プロジェクト等を通しての関係機関との連携強化をはかること

*平成 15 年度は、教育実践研究部門の須曾野助教授が、平成 15 年 8 月 1 日から平成 16 年 2 月 29 日まで、文部科学省内地研究員として兵庫教育大学に出張していた。また、教育臨床研究部門の小山内教授が平成 15 年 11 月 30 日まで病気療養のために休職し、岡田助教授が平成 15 年 7 月 31 日まで文部科学省派遣在外研究員として海外出張していた。そのため、センターの活動は、例年のものとはかなり異なる内容となっている。